

平成 29 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 精工技研  
 代表者名 代表取締役社長 上野昌利  
 (コード番号 6834 )  
 問合せ先 管 理 部 長 斎藤祐司  
 ( TEL. 047 - 388 - 6401 )

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 28 年 10 月 21 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正し、併せて、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期末に係る配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正  
 （平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成 28 年 10 月 21 日公表)	12,500	900	950	550	59.62
今回修正予想(B)	12,500	950	1,050	690	74.75
増減額(B)－(A)	—	+50	+100	+140	—
増減率(%)	—	+5.6	+10.5	+25.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	12,182	930	967	550	59.85

<修正の理由>

電子機器向けのプレス成形品の停滞感が強いものの、車載用成形品の販売が堅調に推移しているほか、光製品関連では為替が円安に振れたこともプラス要因となり、通期の連結売上高は前回発表予想どおりとなる見通しであります。損益面では、プロダクトミックスの改善や原価低減への取り組み等により利益率が改善し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回発表予想を上回り、前期比でも増収増益となる見通しであります。

## 2. 平成 29 年 3 月期 配当予想の修正

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 28 年 5 月 13 日公表)	—	0.00	—	16.00	16.00
今回予想	—		—	20.00	20.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	—	0.00	—	16.00	16.00

### <修正の理由>

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、将来の投資に備えるための内部留保を考慮しながらも、安定した配当を継続的に行うことを基本としております。

当期の期末配当金につきましては、当期の業績見通し及び当社の利益還元に関する基本方針、今後の事業展開等を勘案し、前回予想から 4 円増額し、1 株当たり 20 円に修正いたします。

なお、本件につきましては、平成 29 年 6 月開催予定の当社第 45 回定時株主総会に付議する予定であります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上